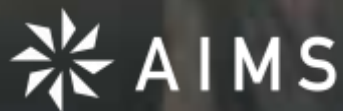




OUR MISSION

痛みのない社会をつくる



Problem

Question

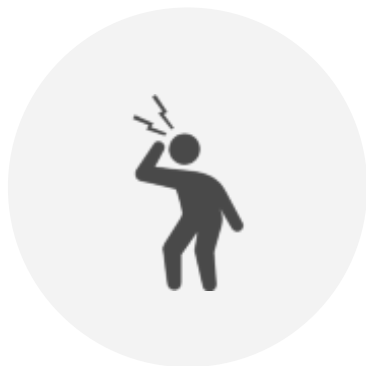
自分のことをどれくらい
知っていますか？

Problem



元気

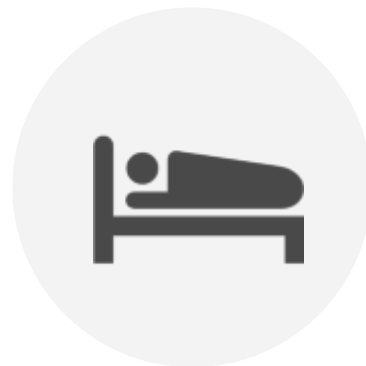
健康



体の痛み



心の痛み



鬱

病気

自分のコンディションに
気づけていないため、
ケアができていない

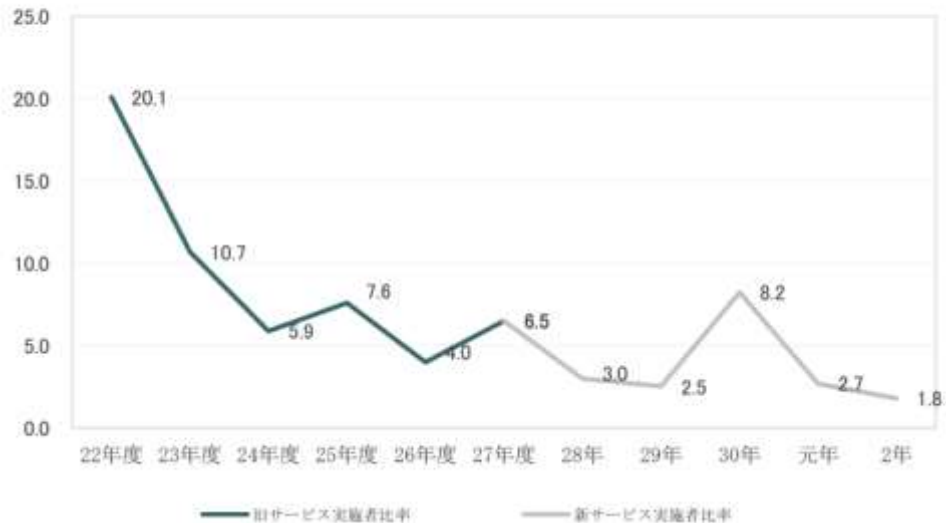
医療費増大
企業負担大
社会復帰の困難

ストレスチェックの受診率

ストレスチェックで高ストレスと判断され、医師の面談受診率

1.8%
のみ

図 35 医師面接実施率の推移



ストレスチェック実施従業員数 618,528人中、高ストレス者約74,797名
うち医師の面談受診約1,349名

R2全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書
公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 メンタルヘルス専門委員会

メンタルサービスの課題

1



軽度症状を拾えない
まま急性期へはいつて
しまう

2



客観的に判断できない
ので漠然とした恐怖感
がある

3



専門家面談が必要と分
かってても面談をするの
をやめてしまう

Product

今までにない **新しい指標** で、
フィジカル・メンタルの状態を可視化



AiLive(Pupillometer) Specification

設置型



TV紹介：ゴーグル型



Ailive : VR型



医療用電子瞳孔計 APP版 (UAE)

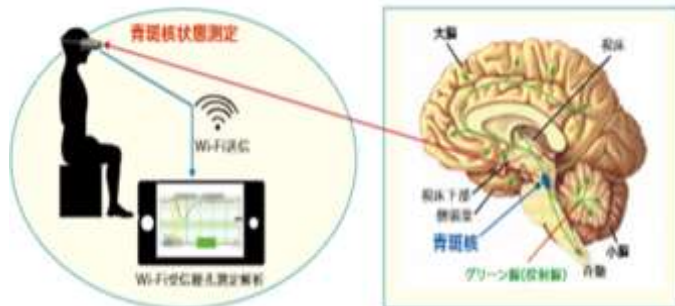


既存の測定方法

血液／唾液／心拍／質問表／瞳孔

- ・ 正直な回答が期待出来ない
- ・ 特定の場所でしか計測できない
- ・ 正確性に疑問がある
- ・ 価格が高価である
- ・ 準備に長時間かかる

AiLiveの測定方法

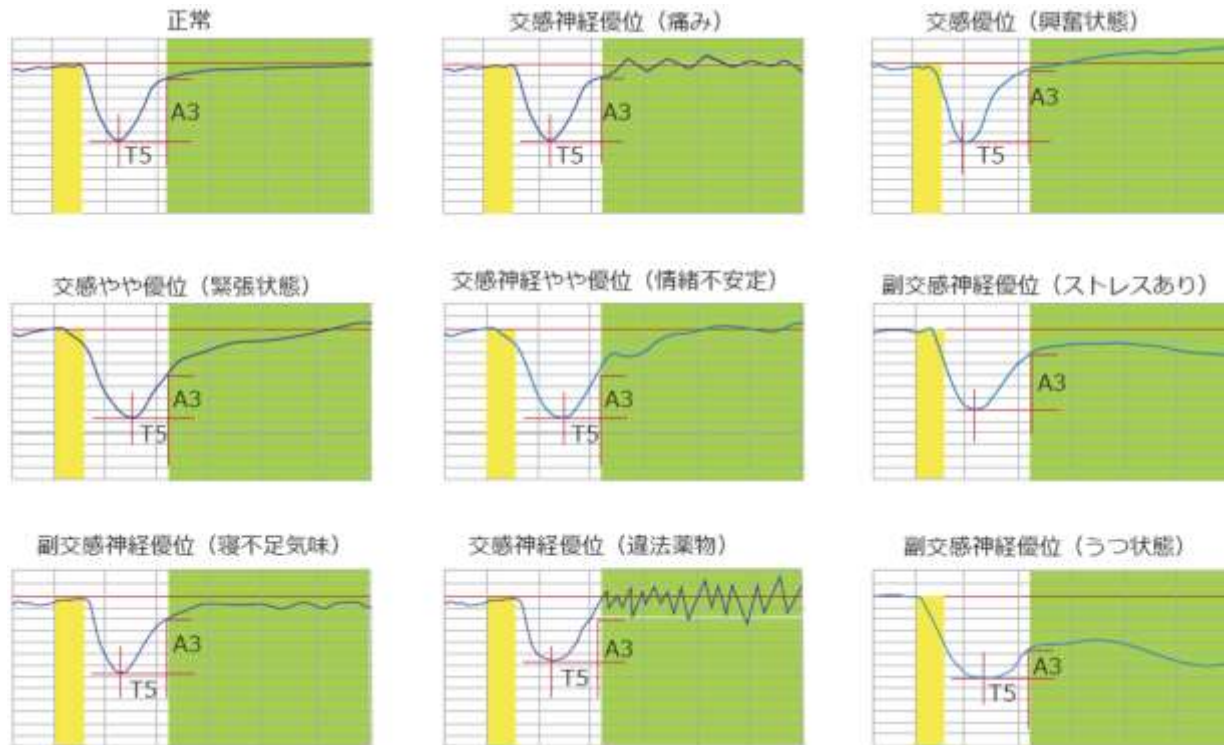


新聞掲載：福島県・田村市とAIMSが実証実験



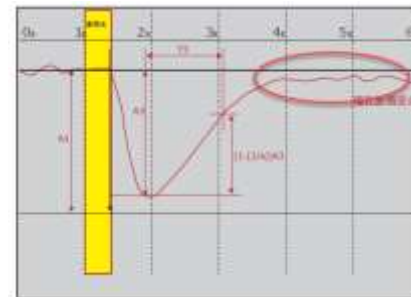
瞳孔計計測 データサンプル

計測生データサンプル

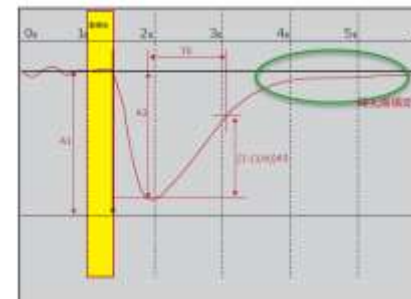


ビフォー・アフター

ストレス状態



アロマ使用後の安定状態



AiLive 紹介動画



動画リンク

<https://youtu.be/y12qgspCvSk>



© AIMS Inc. All Rights Reserved.



瞳孔から「痛み」を計測し、 可視化するツール



- ✓ AI による分析
- ✓ 7 秒の短い計測
- ✓ 瞳孔は嘘をつけない

圧倒的な優位性

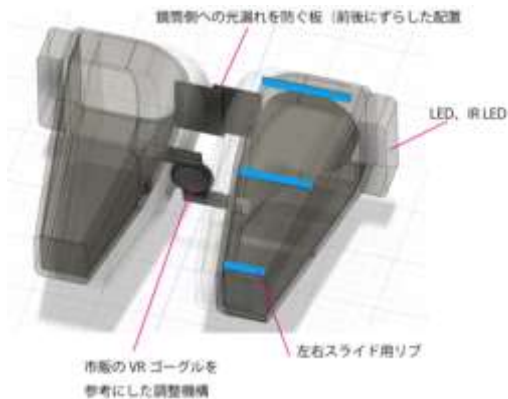


正確な計測結果

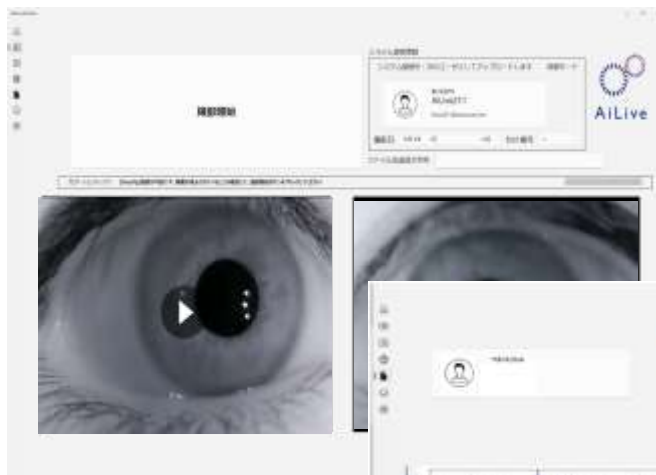


ログ化し、パーソナライズ
されたデータ

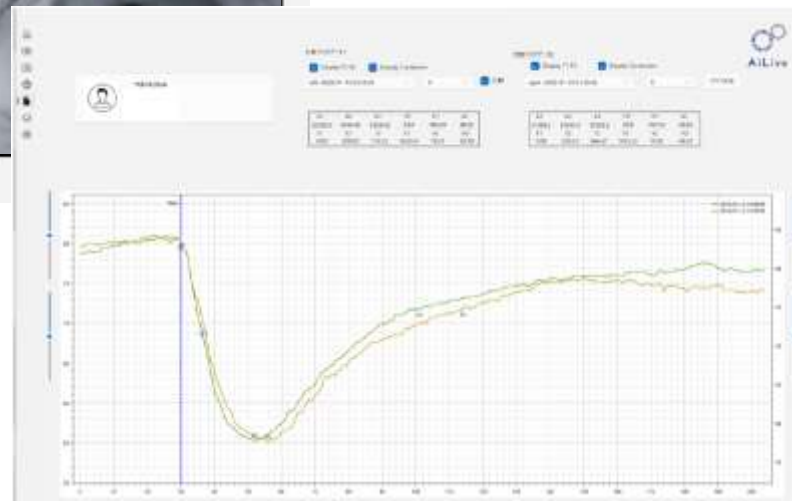
AiLive電子瞳孔計



計測画面

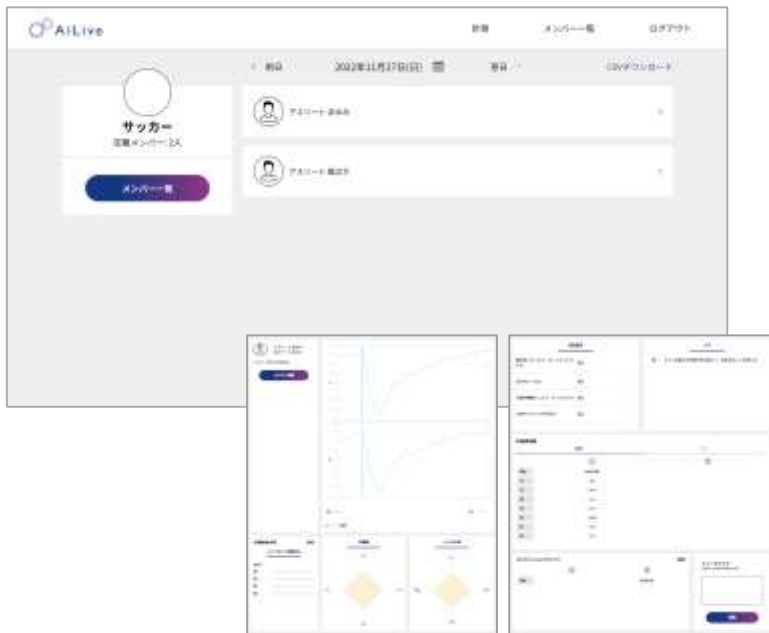


波形グラフ

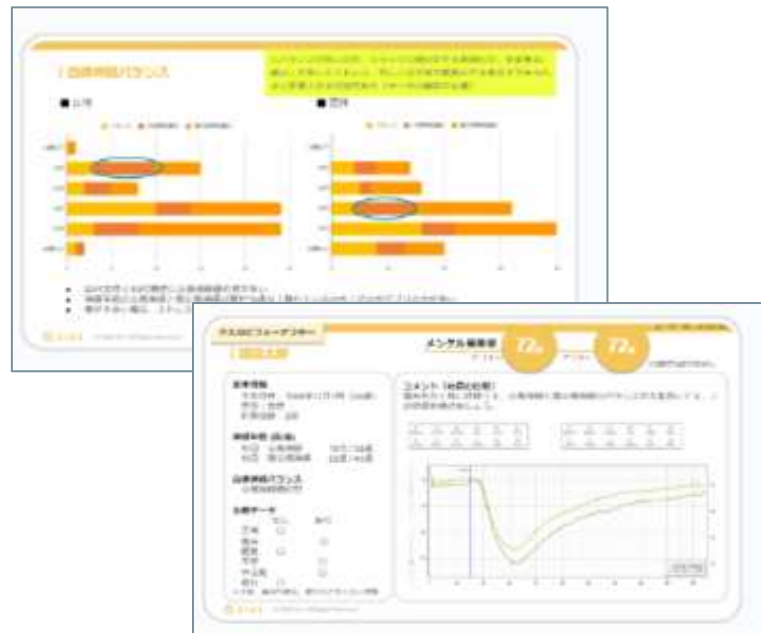


管理者画面

1 管理画面でメンバーの状況把握



2 情報分析レポート



Mecaraユーザーアプリ

1

リアルタイムに
計測結果を閲覧



2

カウンセリング
チャットで相談



3

コミュニティ・あなたに合っ
たEC・専門家への送客支援

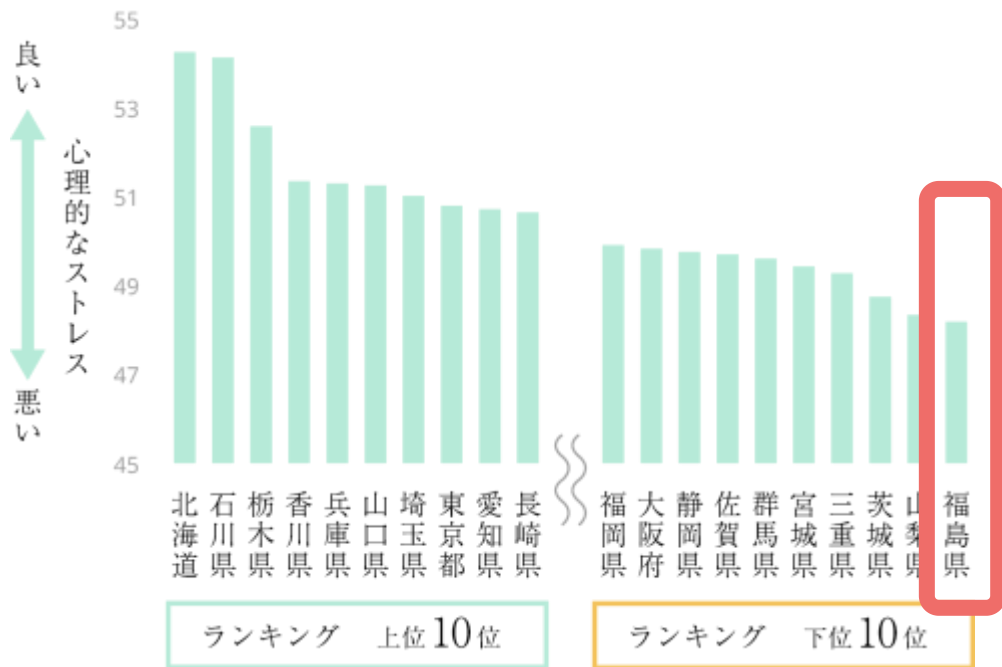


Public版のサービス概要

(福島県県民調査・健康診断)

福島の課題

都道府県ランキング / 心理的なストレス



(引用元) <https://www.peacemind.co.jp/newsrelease/archives/268>

▶ 東日本大震災から12年

▶ 福島県の健康調査：

全国ワースト1



メンタルヘルスから可視化して
社会構造を構築する必要性あり

福島県だからこそ

社会の希望になれる事業が

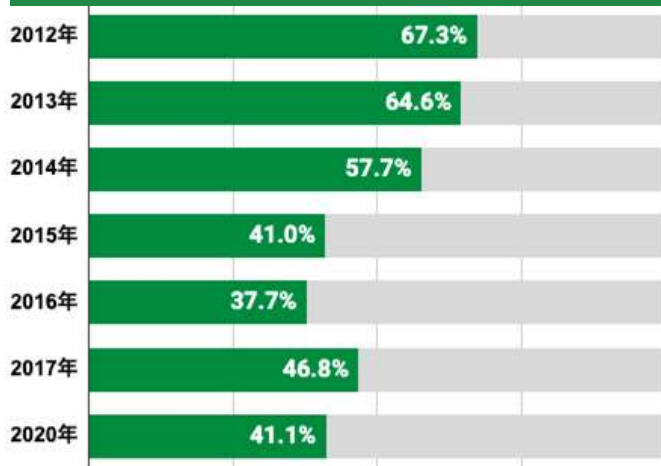
産官学連携で生まれると

信じています

人為災害としてのPTSD

PTSDの可能性

精神的ストレスの推移



辻内琢也/トム・ギル、苦難と希望の人類学、明石書店、2022、53

地震、津波＋原発事故
自然災害 < 人為災害

不安の要因

- 1 身体的要因
- 2 心理的要因
- 3 社会的要因
- 4 経済的要因

高ストレスの要因と社会課題

1 身体的要因

持病の悪化、災害後の新たな疾患への罹患

2 心理的要因

原発事故によって味わった死の恐怖、ふるさとの喪失、避難先での嫌な経験

3 社会的要因

近隣関係の希薄化、相談者の不在、家族関係の悪化、住環境の悪化

4 経済的要因

仕事の喪失、生活費の心配、賠償問題の心配、地元の不動産の心配

新型コロナウイルスやコミュニティとのつながりの希薄化によるメンタル課題の顕在化

福島のみならず、日本、世界が取り組むべき大きな社会課題

産官学の意義



1

医療機器産業を
福島県の基幹産業とする

2

医療機器産業を定着させ
雇用を生み出す

3

福島復興支援

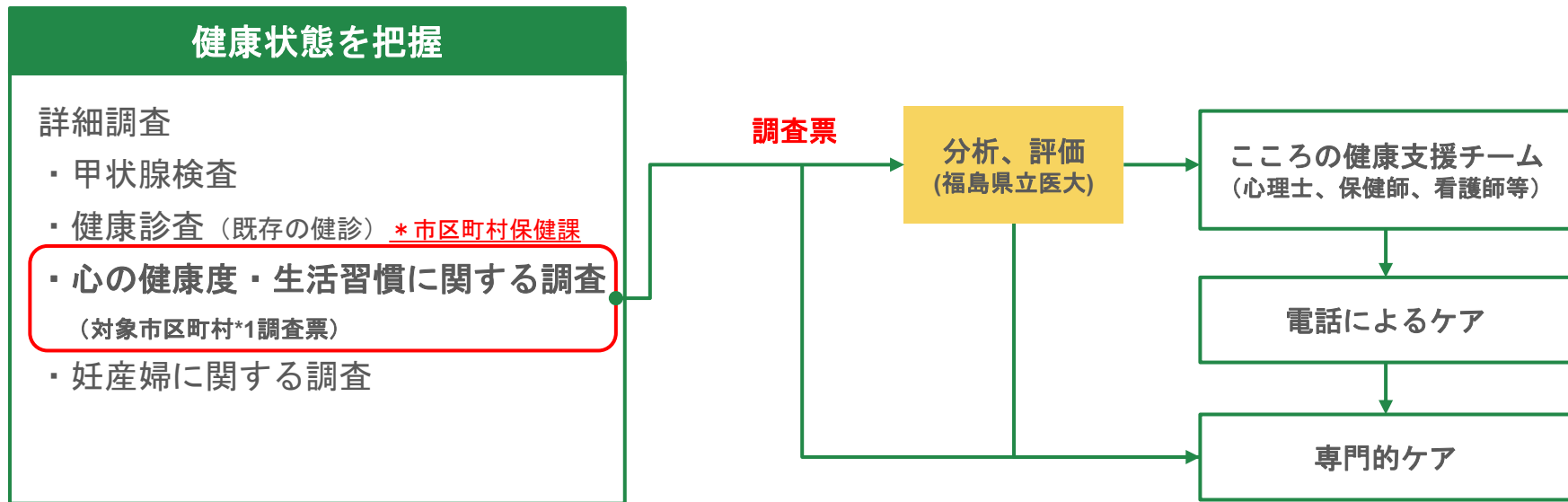
4

コホート研究により
医療業界で研究を行う

5

地元福島県民のストレス・
メンタルを把握でき
専門家への送客ができる

県民健康調査 現状の流れ



福島県立医科大学委託

*1 対象地域：平成23年度に避難区域等に指定された市町村等。田村市、南相馬市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、伊達市の一部（特定避難勧奨地点関係地区）

県民健康調査の課題

調査の現状

- 調査票からの**主観的**評価
 - **4万人** /20万人 の回答
 - 支援対象者：
リーチ数(要支援) **7,000**人
内電話支援 **2,000**人
受診勧奨 **112**人
- 
- The diagram consists of two overlapping circles. The larger, light yellow circle represents the 'Support Targets' (支援対象者) with a total of 7,000 people. The smaller, darker yellow circle represents the 'Respondents' (回答者) with a total of 40,000 people. The intersection of the two circles is shaded in a darker yellow, indicating the overlap between the two groups. Three lines with dots at the end point from the text labels to the corresponding parts of the diagram: one to the large circle, one to the intersection, and one to the small circle.

問題点

- 1 1件当たりの評価に手間がかかる。
- 2 主観的評価である
- 3 4万人/20万人という少ない回答率

解決策

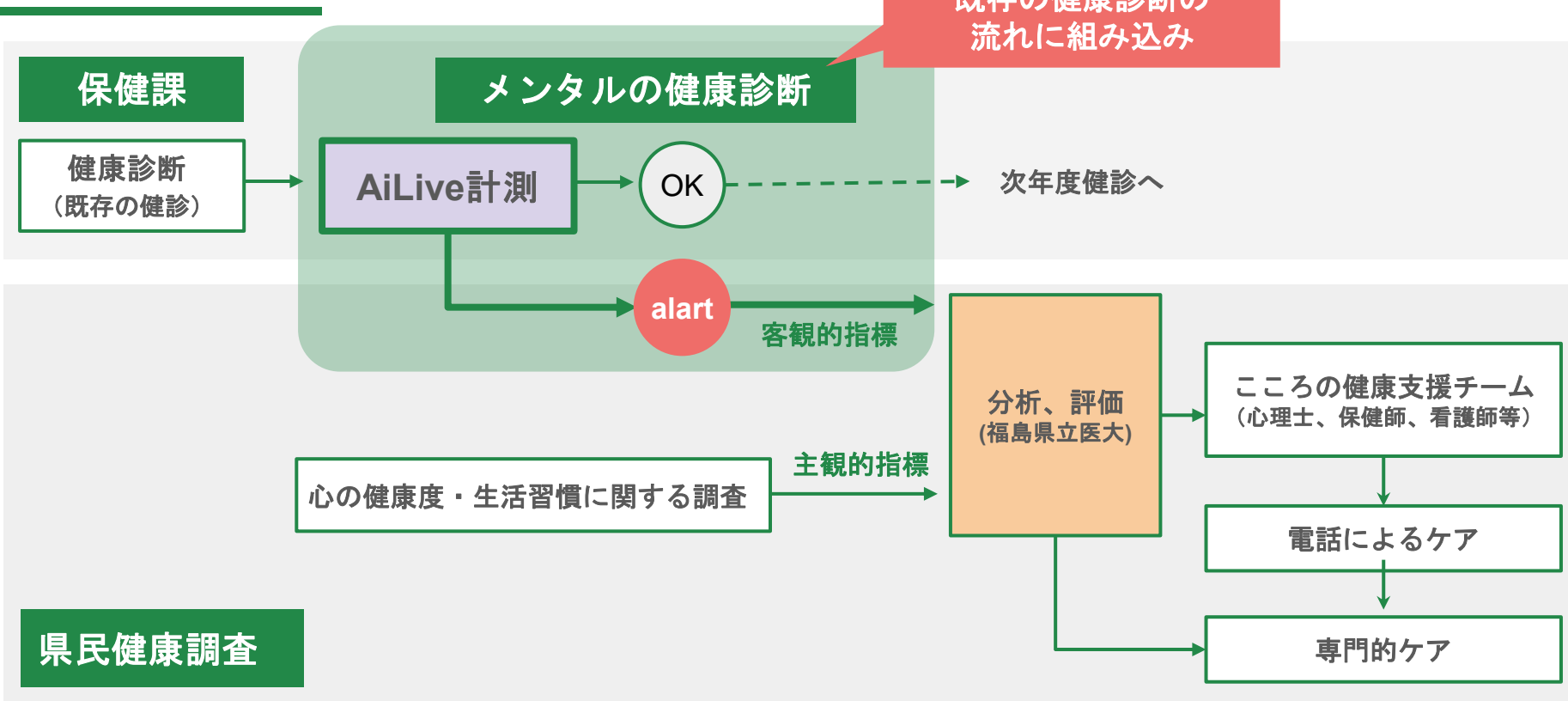
既存の健康診断にメンタルの評価を組み込むことで、早い段階のスクリーニングが可能となる。

参考

令和2年度県民健康調査報告書

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/kenkocoyosa-kokoro.html>

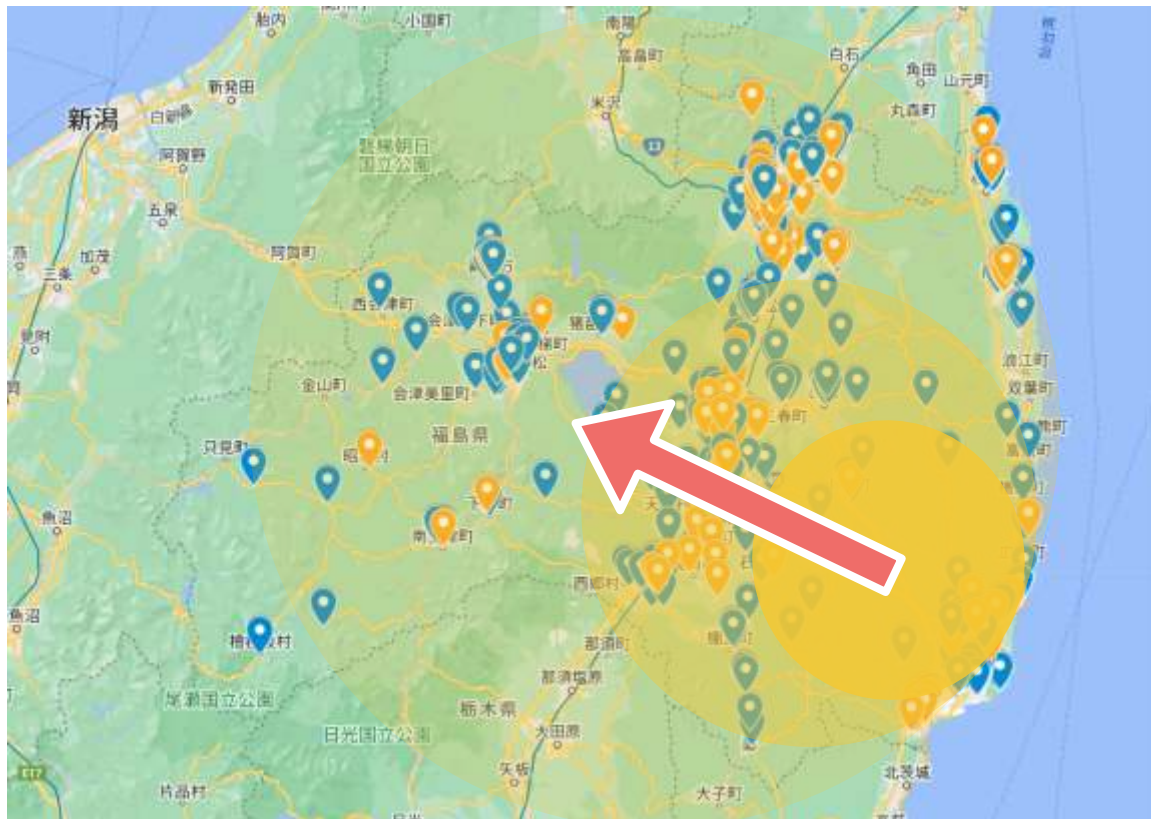
福島県健康診断のご提案（福島モデル）



サービス導入方法



福島モデルを福島県内全域へ



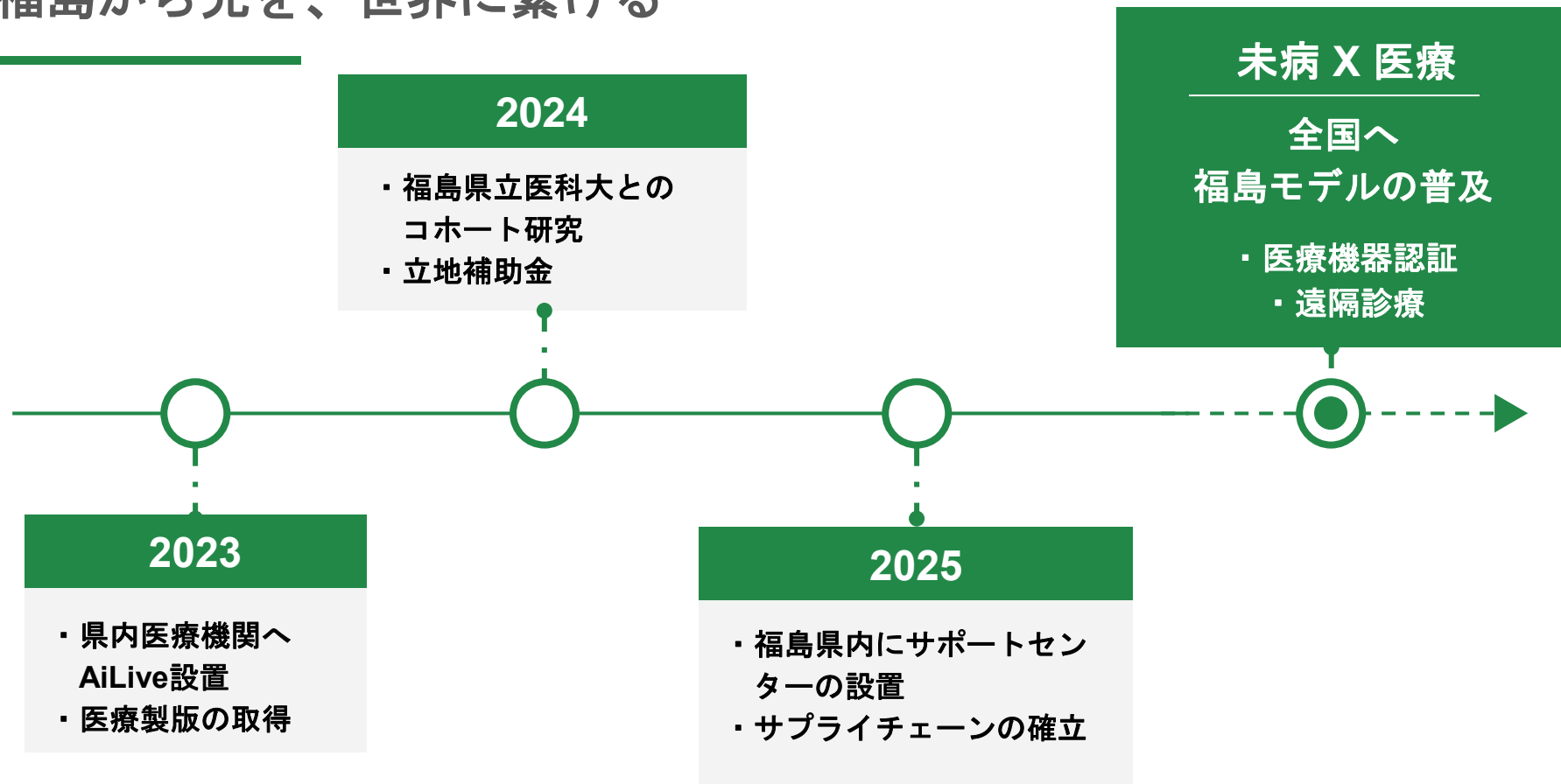
福島モデルの全国展開

全国
54,872 箇所へ

福島
563 箇所

全国特定健診実施機関数
54,872箇所(R5.5.17現在)

福島から光を、世界に繋げる



地域のハブとしての福島支社

田村未来 Medical Promotion Center (田村未来メディカルプロモーションセンター)

通称 : MPC

2023年4月、福島県田村市に福島支社MPCをオープンいたしました。

市民を対象とした健康チェックによる地域の健康コミュニティ活性化やイベントの開催場所として、また、サポートセンターとして役割をもち、健康に寄与します。



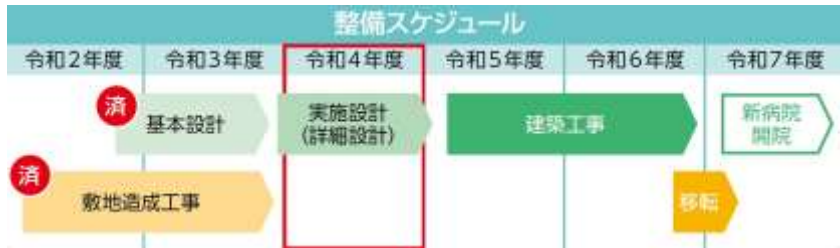
2023/4/15 (土) 開所式にて田村市長白石様と

県内からたくさんの有識者が訪れた開所式の様子

病院との連携

たむら市民病院 / MPCとの立地マップ

<https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/9/hospital-construction-project.html>



たむら市民病院が2025年完成予定、MPCより車で約3分の立地

まとめ

1

新型コロナウイルスやコミュニティとのつながりの希薄化によるメンタル課題が顕在化。
日本のみならず、**世界全体で取り組む必要がある課題**となっている。

2

介入や相談サービスなど数ある住民サービスと、住民認知・行動に乖離があり、
必要な人へ届いていない。

3

自分の状態に気づき、気軽に行動に移してもらい、**住民サービスへつなげていくことが必要。**

4

そのために産官学連携して福島モデルとして日本、世界へ広げていくことは、**汎用性と効果が高く、社会に必要な仕組み**である。

福島での実証実験



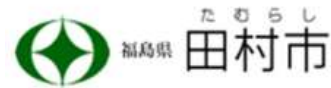
(株)菊池製作所の福島県飯館市飯館工場にて、従業員様向けにコンディショニングチェックをし、状態のフィードバックをさせていただきました。

所用時間：3時間
スタッフ：3名
参加人数：100名



女子バレーボールチーム、デンソーエアリービーズ様の郡山での合宿4日間でビフォーアフターを状態を取得し、疲れの回復や痛みの状態などについてフィードバックをさせていただきました。

所用時間：20分のビフォーアフター
スタッフ：3名
参加人数：15名



福島県の地域復興実用化開発等促進事業費補助金に採択され、田村市と連携し研究開発を実施しております。2022年には、田村市にて市職員、市民向けに3回実証実験を行いました。

所用時間：4時間
スタッフ：2名(計測) + 2名(施術)
参加人数：55名

ご参考



MPC(田村未来メディカルプロモーションセンター)開所式

福島県議長 根本様 星北斗様 げんば光一郎様
真山祐一様 渡辺照雄 田村市義よりご祝辞とご来席いただきました



スパリゾートハワイアンズ様にて実証実験

ご参考



中国清华大学から区長や有識者がご来訪



AiLiveの活用についてディスカッション
竹谷復興副大臣 秋野財務副大臣 若松参議院議員と
参議院会館にて

ご参考



中国清华大学、TUSホールディングス学術交流



阜新 宝地温泉内の病院にて技術交流と実証実験



Wellness Inclusion